

サクコルチン配合錠

【この薬は？】

販売名	サクコルチン配合錠 Saccortin Combination Tablets	
一般名	ベタメタゾン Betamethasone	d-クロルフェニラミンマレイン酸塩 d-Chlorpheniramine Maleate
含有量	1錠中	
	0.25mg	2.0mg

患者向医薬品ガイドについて

患者向医薬品ガイドは、患者の皆様や家族の方などに、医療用医薬品の正しい理解と、重大な副作用の早期発見などに役立てていただくために作成したものです。

したがって、この医薬品を使用するときに特に知っていただきたいことを、医療関係者向けに作成されている添付文書を基に、わかりやすく記載しています。

医薬品の使用による重大な副作用と考えられる場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

ご不明な点などありましたら、末尾に記載の「お問い合わせ先」にお尋ねください。

さらに詳しい情報として、PMDA ホームページ「医薬品に関する情報」
<https://www.pmda.go.jp/safety/info-services/drugs/0001.html> に添付文書情報が掲載されています。

【この薬の効果は？】

- ・この薬は、副腎ホルモン配合剤と呼ばれるグループに属する薬です。
- ・この薬は、炎症やアレルギーを抑え、症状を改善します。ただし、病気の原因そのものを治す薬ではありません。
- ・次の病気の人に処方されます。
蕁麻疹（慢性例を除く）、湿疹・皮膚炎群の急性期及び急性増悪期、薬疹、アレルギー性鼻炎
- ・この薬は、体調がよくなったと自己判断して使用を中止したり、量を減らしたりすると、発熱、頭痛、食欲不振、脱力感、筋肉痛、関節痛、ショックなどの症状があらわれることがあります。指示どおりに飲み続けることが重要です。

【この薬を使う前に、確認すべきことは？】

○次の人は、この薬を使用することはできません。

- ・過去にサクコルチン配合錠に含まれる成分に対し過敏症のあった人
- ・閉塞隅角緑内障の人
- ・前立腺肥大など下部尿路に閉塞性の疾患がある人
- ・デスマプレシン酢酸塩水和物（ミニリンメルト）を夜間多尿による夜間頻尿に使用している男性

○次の人は、原則として、この薬を使用することはできません。

- ・開放隅角緑内障の人
- ・有効な抗菌剤のない感染症にかかっている人
- ・全身の真菌症にかかっている人
- ・結核にかかっている人
- ・消化性潰瘍のある人
- ・精神病の人
- ・単純疱疹性角膜炎の人
- ・後囊白内障の人
- ・高血圧の人
- ・電解質異常のある人
- ・血栓症の人
- ・最近、内臓の手術を受けた人
- ・急性心筋梗塞を起こした人

○次の人は、慎重に使う必要があります。使い始める前に医師または薬剤師に告げてください。

- ・感染症にかかっている人
- ・糖尿病の人
- ・骨粗しょう症の人
- ・腎不全の人
- ・甲状腺機能が低下している人
- ・肝硬変の人
- ・脂肪肝の人
- ・脂肪塞栓症の人
- ・重症筋無力症の人
- ・高齢の人
- ・褐色細胞腫またはパラガングリオーマのある人、およびその疑いのある人

○この薬には併用を注意すべき薬があります。他の薬を使用している場合や、新たに使用する場合は、必ず医師または薬剤師に相談してください。

【この薬の使い方は？】

●使用量および回数

飲む量と回数は、あなたの症状などにあわせて、医師が決めます。

通常、成人は、1回1～2錠を1日1～4回飲みます。

●どのように飲むか？

コップ1杯程度の水またはぬるま湯で飲んでください。

●飲み忘れた場合の対応

決して2回分を一度に飲まないでください。気がついた時に、1回分を飲んでください。ただし、次の飲む時間が近い場合は1回とばして、次の時間に1回分飲んでください。

●多く使用した時（過量使用時）の対応

異常を感じたら、医師または薬剤師に相談してください。

【この薬の使用中に気をつけなければならないことは？】

- ・眠気を催すことがあるので、自動車の運転等危険を伴う機械の操作をしないでください。
- ・水痘（みずぼうそう）または麻疹（はしか）に感染すると致命的な経過をたどることがあります。感染が疑われる場合はただちに受診してください。
- ・この薬を連用した後、急に飲むのを中止すると、発熱、頭痛、食欲不振、脱力感、筋肉痛、関節痛、ショックなどがあらわれることがあります。中止する場合は徐々に減量されます。医師の指示どおりに飲んでください。
- ・B型肝炎ウイルスキャリアといわれている人は、この薬の使用途中や使用終了後に継続して血液検査が行われます。発熱、倦怠感（けんたいかん）、皮膚や白目が黄色くなるなどの症状があらわれた場合には、速やかに医師に連絡してください。
- ・褐色細胞腫があることを認識していなかった状態でベタメタゾン製剤（注射剤）を使用した際に褐色細胞腫クリーゼが発現したとの報告があります。この薬の使用後に著しい血圧上昇、頭痛、動悸（どうき）などの症状があらわれた場合には、速やかに医師に相談してください。
- ・妊婦または妊娠している可能性がある人は医師に相談してください。
- ・授乳を避けてください。
- ・アルコール飲料はこの薬に影響しますので、控えてください。
- ・他の医師を受診する場合や、薬局などで他の薬を購入する場合は、必ずこの薬を飲んでいることを医師または薬剤師に伝えてください。

副作用は？

特にご注意ください重大な副作用と、それぞれの主な自覚症状を記載しました。副作用であれば、それぞれの重大な副作用ごとに記載した主な自覚症状のう

ち、いくつかの症状が同じような時期にあらわれることが一般的です。
 このような場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

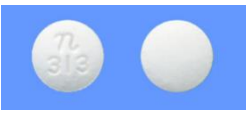

重大な副作用	主な自覚症状
誘発感染症、感染症の増悪 ゆうはつかんせんしょう、かんせんしょうのぞうあく	発熱、寒気、体がだるい 〔B型肝炎ウイルスの増殖による肝炎としてあらわれる場合〕 体がだるい、吐き気、嘔吐、食欲不振、発熱、上腹部痛、白目が黄色くなる、皮膚が黄色くなる、体がかゆくなる、尿の色が濃くなる
続発性副腎皮質機能不全 ぞくはつせいふくじんひしつきのうふぜん	体がだるい、意識の低下、意識の消失、嘔吐、食欲不振、発熱、冷汗が出る、顔面蒼白（そうはく）、手足が冷たくなる
糖尿病 とうびょうびょう	体がだるい、体重が減る、喉が渇く、水を多く飲む、尿量が増える
急性副腎不全 きゅうせいふくじんふぜん	血圧が低い、食欲不振、体がだるい、吐き気、嘔吐、腹痛、発熱、意識の低下、手足のふるえ
消化性潰瘍 しょうかせいかいよう	吐き気、嘔吐、吐いた物に血が混じる（赤色～茶褐色ときに黒色）、腹痛、胃がむかむかする、黒い便が出る
膵炎 すいえん	強い腹痛、背中痛み、お腹が張る、吐き気、嘔吐、体重が減る、喉が渇く、尿量が増える、皮膚が黄色くなる、油っぽい下痢が出る
精神変調 せいしんへんちょう	普段とは違う精神状態、幻覚、妄想、興奮抑うつ
うつ状態 うつじょうたい	気分がゆううつになる、悲観的になる、思考力の低下、不眠、食欲不振、体がだるい
痙攣 けいれん	顔や手足の筋肉がびくつく、一時的にボーっとする、意識の低下、手足の筋肉が硬直しガクガクと震える
錯乱 さくらん	注意力が散漫になる、問いかけに間違った答えをする、行動にまとまりがない
骨粗鬆症 こつそしょうしょう	骨折しやすい、腰・背中の痛み、手足の痛み、背が低くなった、背中が丸くなった
ミオパシー ミオパシー	筋肉の痛み、筋肉のこわばり、筋力の低下、筋萎縮
大腿骨及び上腕骨等の骨頭無菌性壊死 だいたいこつおよびじょうわんこつなどのこつとうむきんせいえし	脚の付け根の痛み、膝からももへの痛み、腕の付け根の痛み
緑内障 りよくないしょう	目のかすみ、視力の低下、視野が欠けて狭くなる
後囊白内障 こうのうはくないしょう	視力の低下、かすんで見える、まぶしい、眼鏡で視力が出ない

重大な副作用	主な自覚症状
血栓症 けっせんしょう	ふくらはぎの痛み・腫れ、手足のしびれ、鋭い胸の痛み、突然の息切れ、押しつぶされるような胸の痛み、激しい頭痛、脱力、まひ、めまい、失神、目のかすみ、舌のもつれ、しゃべりにくい
再生不良性貧血 さいせいふりょうせいひんけつ	めまい、体がだるい、息切れ、動悸、あおあざができる、出血が止まりにくい、発熱、寒気、喉の痛み
無顆粒球症 むかりゅうきゅうしょう	突然の高熱、寒気、喉の痛み
幼児・小児の発育抑制 ようじ・しょうにのはついくよくせい	発育遅延

以上の自覚症状を、副作用のあらわれる部位別に並び替えると次のとおりです。これらの症状に気づいたら、重大な副作用ごとの表をご覧ください。

部位	自覚症状
全身	発熱、寒気、体がだるい、体がかゆくなる、冷汗が出る、体重が減る、顔や手足の筋肉がびくつく、骨折しやすい、背が低くなった、脱力、まひ、出血が止まりにくい、突然の高熱、発育遅延
頭部	意識の低下、意識の消失、普段とは違う精神状態、妄想、興奮抑うつ、気分がゆううつになる、悲観的になる、思考力の低下、不眠、一時的にボーっとする、注意力が散漫になる、問いかけに間違った答えをする、行動にまとまりがない、激しい頭痛、めまい、失神
顔面	顔面蒼白（そうはく）
眼	白目が黄色くなる、幻覚、目のかすみ、視力の低下、視野が欠けて狭くなる、かすんで見える、まぶしい、眼鏡で視力が出ない
口や喉	吐き気、嘔吐、喉が渇く、水を多く飲む、吐いた物に血が混じる（赤色～茶褐色ときに黒色）、舌のもつれ、しゃべりにくい、喉の痛み
胸部	鋭い胸の痛み、突然の息切れ、押しつぶされるような胸の痛み、息切れ、動悸
腹部	食欲不振、上腹部痛、腹痛、胃がむかむかする、強い腹痛、お腹が張る
背中	背中痛み、腰・背中の痛み、背中が丸くなった
手・足	手足が冷たくなる、手足のふるえ、手足の筋肉が硬直しガクガクと震える、手足の痛み、脚の付け根の痛み、膝からももへの痛み、腕の付け根の痛み、ふくらはぎの痛み・腫れ、手足のしびれ
皮膚	皮膚が黄色くなる、あおあざができる
筋肉	筋肉の痛み、筋肉のこわばり、筋力の低下、筋萎縮
尿	尿の色が濃くなる、尿量が増える
便	黒い便が出る、油っぽい下痢が出る
その他	血圧が低い

【この薬の形は？】

形状	素錠 
PTP シート	 表面 裏面
直径	8.0mm
厚さ	3.4mm
重さ	190mg
色	白色
識別コード (本体コード)	n 313
識別コード (PTP シート)	 313

【この薬に含まれているのは？】

有効成分	ベタメタゾン、 <i>d</i> -クロルフェニラミンマレイン酸塩
添加剤	無水乳糖、部分アルファー化デンプン、ヒドロキシプロピルセルロース、ステアリン酸マグネシウム

【その他】

●この薬の保管方法は？

- ・光と湿気を避けて室温（1～30℃）で保管してください。
- ・子供の手の届かないところに保管してください。

●薬が残ってしまったら？

- ・絶対に他の人に渡してはいけません。
- ・余った場合は、処分の方法について薬局や医療機関に相談してください。

【この薬についてのお問い合わせ先は？】

- ・症状、使用方法、副作用などのより詳しい質問がある場合は、主治医や薬剤師にお尋ねください。
- ・一般的な事項に関する質問は下記へお問い合わせください。

製造販売元：日医工株式会社 (<https://www.nichiiko.co.jp>)

くすりの相談窓口の電話番号 TEL（フリーダイヤル）：(0120) 039-215

受付時間：9時～17時（土、日、祝祭日その他当社の休業日を除く）